

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4110311331		
法人名	医療法人社団如水会		
事業所名	グループホーム「安心」いまむら		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1574		
自己評価作成日	平成23年 1 月 6 日	評価結果市町村受理日	平成23年3月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成23年1月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開放的な玄関。入口、庭に花を飾り、季節感を味わえるようにしている。居間の窓は大きく南からの光が降りそそぐ明るいホーム。医療機関に隣接しており、入居者、家族のかたには安心して頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは明るく、居間、食堂は南向きの大きな窓から光がさし込み、窓からは季節の草花、小鳥達を楽しむ事が出来る。職員たちは明るく、入居者の状態やペースに合わせて言葉かけが行われ、心地よい介護が行われている。「心」を持って、最良の医療を提供したいという母体医療機関が隣接し、ホームには看護師が配置されている事で、入居者の健康管理、緊急時、重度化した時の医療体制が整っている。その事が入居者、家族が安心して暮らせるホームとなっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	1F	2F			1F	2F	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中核病院としての同じ法人内のホームとして、基本理念、行動基準をもとにして運営している。また、当ホーム独自の理念をもちカンファレンスで確認している。	地域の中核病院としての同じ法人内のホームとして、基本理念、行動基準をもとにして運営している。また、当ホーム独自の理念をもちカンファレンスで確認している。	母体組織である病院の基本理念、行動基準とともに、ホームで独自の理念を持ち、カンファレンスで確認がなされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館、区長、民生委員宅へ訪問し、当ホームについての認知をすすめている。	公民館、区長、民生委員宅へ訪問し、当ホームについての認知をすすめている。	敬老会にボランティアの訪問はあるが、区長、民生委員、地域住民との交流や地域活動への参加は行われていない。	区長、民生委員等、地域の関係者への働き掛けを継続するとともに、地域活動の情報を集め、積極的に参加し、地域との交流を図る工夫が望まれる。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献出来ていない。	地域貢献出来ていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	22年7月から、2カ月に1回、運営推進会議をおこなっている。家族の方の参加もあり、意見交換の場となっている。	22年7月から、2ヶ月に1回、運営推進会議をおこなっている。家族の方の参加もあり、意見交換の場となっている。	2ヶ月に1回、市職員、家族、母体医療機関の室長の出席を得て、開催されている。そこで出された意見、要望をサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖地区GH協議会への参加を中心に、交流・情報交換を行っている。実績報告のために月に1回は介護保険課に訪問している。	鳥栖地区GH協議会への参加を中心に、交流・情報交換を行っている。実績報告のために月に1回は介護保険課に訪問している。	1ヶ月に1回、市役所介護保険課を訪問し、ホームの実情を報告している。運営推進会議、鳥栖地区グループホーム協議会等の参加を通じて協力関係が出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設玄関は、夜間のみ施錠。その他の身体拘束は行っていない。	2Fの入り口のみ、危険防止のため家族の同意を受け、施錠している。	身体拘束の弊害を認識しているものの、安全面から、家族に書面で同意をもらい、車椅子の抑制帯を使用している。2階の入り口は危険防止の為、施錠されている。	身体拘束をしない、鍵をかけないケアの工夫に取り組まれる事を期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講演会への参加を行い、カンファレンスで伝えている。	講演会への参加を行い、カンファレンスで伝えている。		

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会への参加を行い、カンファレンスで伝えている。	研修会への参加を行い、カンファレンスで伝えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	主にケアマネージャー、管理者の立ち会いのもと全ての書類の説明を行い、質問等は常時、受けている。	主にケアマネージャー、管理者の立ち会いのもと全ての書類の説明を行い、質問等には常時、受けている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入口に意見箱を設置している。また、運営推進会議で意見を受け、報告も行っている。	玄関入口に意見箱を設置している。また、運営推進会議で意見を受け、報告も行っている。	玄関入口に代表者に直接、利用者や家族の声が届くように意見箱や葉書が用意されている。また、運営推進会議で出された意見、要望を運営に反映させるように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスで意見を出し合い、改善できるようにしている。	カンファレンスで意見を出し合い、改善できるようにしている。	月1回のカンファレンスや日常会話の中で職員の意見や提案を聞き、出された意見や提案は運営に反映させるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	週に1回、在宅会議が行われている。	週に1回、在宅会議が行われている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に2回の、人事考課を行っている。	年に2回の、人事考課を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会に加入し、勉強会に参加し、他事業所と、交流を行っている。	GH協議会に加入し、勉強会に参加し、他事業所と、交流を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望者又は、家族に事前に十分な説明を行い、施設見学を行っている。	入居希望者又は、家族に事前に十分な説明を行い、施設見学を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に説明を行い、家族の不安や心配事に耳を傾け、入居初期は家族と連絡を密に取り、入居者の状態の報告を行っている。	入居前に説明を行い、家族の不安や心配事に耳を傾け、入居初期は家族と連絡を密に取、入居者の状態の報告を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の状態を、家族に連絡を入れ、今までとは違う等の情報も改めて聞き、ケアの修正を行う。	入居者の状態を、家族に連絡を入れ、今までとは違う等の情報も改めて聞き、ケアの修正を行う。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いが、尊重できる環境を心がける。	お互いが、尊重できる環境を心がける。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議の参加をお願いしたり、行事の参加をすすめている。	運営推進会議の参加をお願いしたり、行事の参加をすすめている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	公民館や老人クラブ等へ参加はない。	公民館や老人クラブ等への参加はないが、以前利用していたデイサービスなどに顔を出したりしている。	地区の入居者がいない、重度者が多い、ホームの車がない等で馴染みの人や場所への訪問は少なくなっている。	入居者にとっての馴染みの人や場所の把握を行い、積極的に出かけていく体制作りを期待したい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の特徴や要望を把握し、自然体で過ごせるように、食事の時に座る場所を工夫したり、家具の配置を工夫している。	個々の特徴や要望を把握し、自然体で過ごせるように、食事の時に座る場所や、家具の位置を工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所になった方や家族の方と当法人の病院で合えた時には、声かけを行っている。	退所になった方や、家族の方と当法人の病院で合えた時には、声かけを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族の希望を定期的に確認している。できるだけ希望に沿った生活が送れるように心がけている。	本人、家族の希望を定期的に確認している。できるだけ希望に沿った生活が送れるように心がけている。	ケアプラン作成時、本人から希望、意向を確認している。困難な場合は、言葉、表情、行動から汲み取ったり、家族からの情報を得るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族の希望を定期的に確認している。できるだけ希望に沿った生活が送れるように心がけている。	本人、家族の希望を定期的に確認している。できるだけ希望に沿った生活が送れるように心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の特徴を把握し、その方に合ったサービスを提供するようにしている。	個々の特徴を把握し、その方に合ったサービスを提供するようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に本人・家族・職員で話しているが、充分とは言えない。	定期的に本人・家族・職員で話しているが、充分とは言えない。	入居者の担当者が原案を作成し、休み時間、仕事に職員が検討し、意見を出し合って作りあげている。入居者本位の計画になっているか常に検討がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員各々で記録の差がある。記録についてホーム内で勉強会を行い、記録についての認識を深めていきたい。	職員各々で記録の差がある。記録についてホーム内で勉強会を行い、記録についての認識を深めていきたい。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在、ショートステイを受け入れられない状態であるため、早く再開できるようにしたい。	現在、ショートステイを受け入れられない状態であるため、早く再開できるようにしたい。		

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの発表会に文化会館まであしを運んだりして、楽しめた。	ボランティアの発表会に文化会館まで行き楽しめた。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関係医療機関と連携し、各専門医の受診がスムーズに行えるようにしている。	関係医療機関と連携し、各専門医の受診がスムーズに行えるようにしている。	本人及び家族の希望を確認し、協力病院より各専門医の訪問診療が行われている。希望する他の医療機関については家族対応で行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の状態の把握に努めたり、異常時は連絡を入れ、担当医との連携を図り、悪化防止に努めている。	入居者の状態の把握に努めたり、異常時は連絡を入れ、担当医との連携を図り、悪化防止に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	関係医療機関と連携し、毎週連各会議をおこなっている。早期退院に向けた話し合いをおこなっている。	関係医療機関と連携し、毎週連絡会議を行っている。早期退院にむけた話あいをやっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時から本人・家族の希望をしり、希望に沿った終末期を迎えられるように心がけている。	入居時から本人・家族の希望をしり、希望に沿った終末期を迎えられるように心がけている。	入居時、本人・家族等に重度化及びターミナルケアについて話し合いがなされている。状態の変化があるごとに本人・家族の意思を確認しながら行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作成し、各階に掲示している。	緊急時のマニュアルを作成し、各階に掲示している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練を行っている。消防署、設備会社の指導を受けている。	年に2回の避難訓練を行っている。消防署、設備会社の指導を受けている。	夜間を想定して年2回、火災避難訓練を行い、消防署、設備会社の指導を受けているものの、地震、水害を想定しての対策や地域の協力を得られる体制にはなっていない。	地震、水害等の災害を想定した訓練や職員だけの誘導の限界を確認し、消防団等を通して地域と協力体制を築いていく事が望まれる。

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に心がけている。	常に心がけている。	トイレへの誘導時には静かに声をかけたり、さりげなく介助したりと、一人ひとりに合わせた言葉かけや対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけゆっくり話すようにしている。	出来るだけゆっくり話すようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分や体調を把握し、本人と一日の過ごし方を決めるようにしている。	その日の気分や体調を把握し、本人と一日の過ごし方を決めるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に2回の理・美容師の訪問を受けている。	月に2回の理・美容師の訪問を受けている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ、季節の食材を使用している。片付けや準備は職員のみである。	出来るだけ、季節の食材を使用している。片付けや準備は職員のみである。	利用されている食材宅配はメニューが決まっているが、利用者の状態に合わせて工夫して調理されている。行事食には家族の参加を呼びかけ、一緒に楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業者と契約し、福祉食献立を提供し栄養バランスに注意している。	御者と契約し、福祉食献立を提供し栄養バランスに注意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は個人に遭ったケアを行っている。痛み等の出現時は、同病院内の歯科受診をしている。	毎食後に個人に遭ったケアを行っている。痛み等の出現時は、総病院内の歯科受診をしている。		

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	昼間は、紙おむつに換えトイレに誘導し自然な排泄ができるようにしている。	チェックシートを使用しトイレへの誘導を行い、自然な排泄が出来るようにしている。	排泄チェックシートを使用し、一人ひとりの排泄パターンを把握し、誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬にたよらないように、トイレ誘導し、習慣化したり、乳製品や、食物繊維を多くとるようにしている。	出来るだけ薬にたよらないように、トイレ誘導し、習慣化したり、乳製品や食物繊維を多くとるようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は設定しているが、本人の気分や状態にあわせ、希望に沿うようにしている。	入浴日は設定しているが、本人の気分や状態にあわせ、希望に沿うようにしている。	週3回の入浴が基本であるが、本人の希望や状態に合わせた体制となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者の生活歴や状況に応じて安心できる環境や空間づくりを支援している。	入居者の生活歴や状況に応じて安心できる環境や空間づくりを支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ファイルを全員が見るようにしている。臨時薬などはノートを活用し、把握できるようにしている。	お薬ファイルを全員が見るようにしている。臨時薬などはノートを活用し、把握できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌のビデオや散歩など希望に合わせてられるようにしている。	歌のビデオや散歩など希望に合わせてられるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	売店などに希望者には行っている。	売店などに希望者には行っている。	隣接している母体医療機関の売店に出かけ買い物を楽しんだり、ホームの周りの散歩に出かけている。普段は行けないような場所には家族の協力を得て出かけられている。	

自己	外部	項目	自己評価(1F)	自己評価(2F)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	受診の帰りや、リハビリの帰りなどに売店にて買い物をしたりする。	受診の帰りや、リハビリの帰りなどに売店にて買い物をしたりする。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、公衆電話までおつれする。	希望時には、公衆電話までおつれする。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	車椅子の方が多いため、ソファの配置等を工夫し自由に行き来できるようにしている。	車椅子のかたと歩行の方がいるので、安心して自由に行き来できるように家具の配置を工夫している。	居間、食堂は大きな窓からやわらかい光がさし込み、窓からは季節の草花や小鳥達を楽しむ事が出来る。ご飯の炊ける匂い、包丁や食器の音が聞こえ、居心地よくゆっくりと過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置に気を配り、入居者同士で会話ができるようにしたりと工夫している。	ソファの配置に気を配り、入居者同士で会話ができるようにしたりと工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ってきてもらい、過ごしやすい環境を作っている。できるだけ制限のない環境を提供したい。	使い慣れたものを持ってきてもらい、過ごしやすい環境をつくっている。できるだけ制限のない環境を提供したい。	居室は使い慣れた家具が持ち込まれ、写真や絵、置物等で飾られ、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の特徴・希望を把握し自分らしく過ごせるようにサポートしている。	個々の特徴・希望を把握し自分らしく過ごせるようにサポートしている。		